

2019年7月22日 15:15～17:15

JBA セッション

## 我が国のバイオ政策の新展開—世界競争を勝ち抜くために—

バイオテクノロジーは近年の飛躍的な技術発展により、全産業に浸透し、大きな市場拡大に貢献するとされる。欧米・中国では研究開発のみならず、規制や公共調達などの施策を総動員し、バイオを国家戦略として位置付けている。我が国も統合イノベーション戦略に基づき、新たなバイオ戦略を取りまとめようとしている。それぞれの産業分野における方向性について各担当省庁から、研究開発プログラムの企画・立案・公募・応募の流れについて科学技術振興機構から講演いただき、微生物ウィーク 2019 の嚆矢となるシンポジウムとして企画した。

はじめに

野尻 秀昭（東京大学 生物生産工学研究センター・CRIIM）

座長 穴澤 秀治（一般財団法人バイオインダストリー協会）

15:20 ～ 15:45 我が国の新たなバイオ戦略について

森 幸子（内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付  
企画官）

15:45 ～ 16:10 地域循環共生圏の創造とバイオ —日本発の脱炭素化・  
SDGs 構想—

中井 徳太郎（環境省 総合環境政策統括官）

16:10 ～ 16:35 バイオ産業に関わる最近の政策について

田中 哲也（経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ  
生物化学産業課）

16:35 ～ 16:55 海外のバイオエコノミー戦略について

坂元 雄二（日本バイオ産業人会議 事務局）

16:55 ～ 17:15 科学技術振興機構（JST）の研究開発プログラムのご紹介

笹月 俊郎（科学技術振興機構 産学連携展開部）

終わりに

穴澤 秀治